

平成 30 年度文部科学省補助事業
『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』研修会 実施要項
広島県開催

【目的】

近年、我が国の青少年の抱える健康課題が多様化、深刻化する中で、未成年者による喫煙や飲酒ならびに薬物乱用も課題の一つであり、とりわけ薬物乱用においては、危険ドラッグの登場や大麻事犯の増加、向精神薬の乱用が増加傾向にあるなど、若年層の大麻や危険ドラッグ等の薬物乱用の広がりが懸念されている。平成 25 年に薬物乱用対策推進会議（議長：内閣府特命担当大臣）で策定された「第四次薬物乱用防止五か年戦略」において、学校における薬物乱用防止教育の充実強化が求められている。日本学校保健会では文部科学省の補助を受け、平成 20 年から平成 21 年にかけての学習指導要領改訂に基づき『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』を改訂し、全国の学校へ配付している。『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』を有効に活用できるよう本研修会を実施する。

主催：公益財団法人日本学校保健会

共催：広島県教育委員会 広島県学校保健会（申請中）

1 日時・場所・定員

日時：平成 30 年 7 月 26 日（木）開場：12：00 開会 13：00 閉会 16：30

場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前ホール（広島市南区大須賀町 13-9）

定員：200 名（申込先着順、定員になり次第締切）

2 参加対象：学校教育関係者等（管理職、教諭、養護教諭、保健主事、栄養教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者）

3 参加費：無料

4 内容：（仮題）

（1）趣旨説明

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 担当官

（2）講義 1 これからの喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の考え方

東京薬科大学薬学部 教授 北垣邦彦

（前文部科学省学校健康教育課健康教育調査官）

（3）講義 2 身近に迫る薬物乱用（仮題）

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

薬物依存研究部・依存性薬物研究室 室長 船田 正彦

（4）実践発表 今求められる喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育～指導参考資料を基盤にして～
公益財団法人 日本学校保健会 事務局顧問 並木 茂夫

12:00	13:00	13:10	13:40	14:30	14:40	15:30	16:20	16:30
開場	開会	趣旨説明	講演 1	休憩	講演 2	実践発表	質疑 応答	閉会

5 参加申込方法：日本学校保健会運営ポータルサイト「学校保健」より申込

<http://www.gakkohoken.jp>（申込先着順、定員になり次第締切）

教育関係者、学校保健関係者のみなさまへ

参加無料 要予約

主催：公益財団法人 日本学校保健会
共催：広島県教育委員会、広島県学校保健会

平成30年度文部科学省補助事業

『喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料』研修会

広島県開催

2018年7月26日(木) 13:00~16:30 (12:00開場)

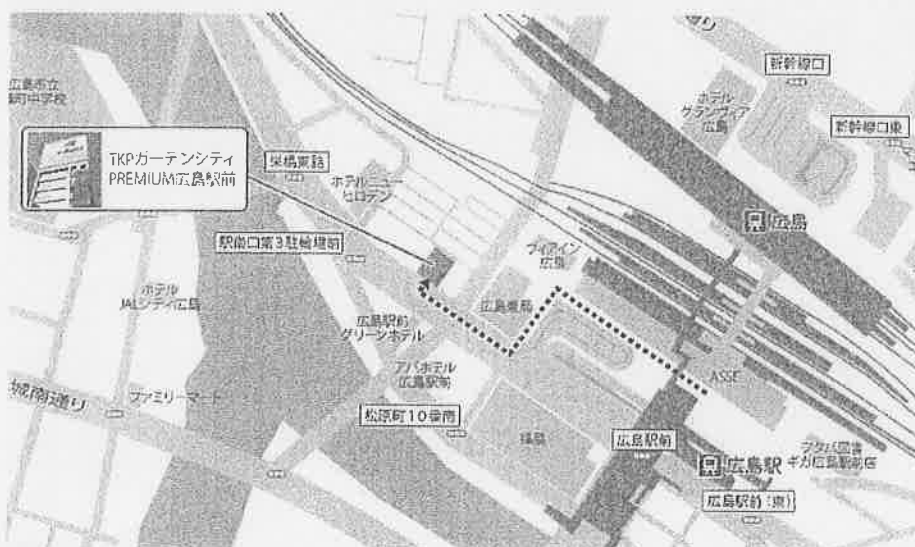
TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前ホール

広島県広島市南区大須賀町 13-9

- (1) 趣旨説明 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 担当官
- (2) 講義1 これからの喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の考え方
東京薬科大学薬学部 教授 北垣邦彦
- (3) 講義2 身近に迫る薬物乱用(仮題)
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
薬物依存研究部・依存性薬物研究室 室長 船田 正彦
- (4) 実践発表 今求められる喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育～指導参考資料を基盤にして～
公益財団法人 日本学校保健会 事務局顧問 並木 茂夫

参加対象：学校教育関係者等(管理職、教諭、養護教諭、保健主事、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者)

募集定員：200人(申込先着順・定員になり次第締切)



【交通のご案内】

- JR山陽本線 広島駅 南口 徒歩2分
- 広島電鉄 広島駅 徒歩3分
- JR芸備線 広島駅 南口 徒歩2分
- JR呉線 広島駅 南口 徒歩2分
- JR可部線 広島駅 南口 徒歩2分

【お申込方法】

◇ポータルサイト「学校保健」<http://www.gakkohoken.jp/>研修会申込ページより申込

公益財団法人 日本学校保健会 事務局 担当：三谷

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー6階

TEL：03-3501-0968/FAX：03-3592-3898